

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年9月19日(2019.9.19)

【公開番号】特開2019-129860(P2019-129860A)

【公開日】令和1年8月8日(2019.8.8)

【年通号数】公開・登録公報2019-032

【出願番号】特願2018-12259(P2018-12259)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和1年7月12日(2019.7.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

可変表示の開始に応じて表示を開始し、可変表示の終了に応じて表示を終了する特定表示を実行可能な特定表示実行手段を備え、

前記特定表示実行手段は、

可変表示期間を示唆可能な態様により特定表示を表示可能であり、

可変表示期間を示唆可能な態様により特定表示を表示しているときに、前記有利状態に制御される期待度に応じて該特定表示の態様を変化させることが可能であり、

可変表示に関する情報が表示される所定表示領域において特定表示を表示可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(1) 上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、可変表示(例えば、特別図柄や飾り図柄の可変表示)を行い、遊技者にとって有利な有利状態(例えば、大当たり遊技状態)に制御可能な遊技機であって、可変表示の開始に応じて表示を開始し、可変表示の終了に応じて表示を終了する特定表示(例えば、アクティブ表示や、アクティブ表示移動演出における球体表示129IW002bの表示)を実行可能な特定表示実行手段を備え、特定表示実行手段は、可変表示期間を示唆可能な態様により特定表示を表示可能であり(例えば、アクティブ表示移動演出により、球体表示129IW002bが、可変表示開始時に開始位置に位置し、可変表示終了時に終了位置に位置するように移動することによって示唆される。図8-4参照。)、可変表示期間を示唆可能な態様により特定表示を表示しているときに、有利状態に制御される期待度に応じて該特定表示の態様を変化させることが可能であり(例えば、球体表示129IW002bを移動させるアクティブ表示移動演出の実行中に、球体表示129IW002bの表示態様を変化させるアクティブ表示変化演出を実行可能である。図8-5参照)、可変表示に関する情報が表示される所定表

示領域（例えば、情報表示領域 129IW001。図 8-4 参照）において特定表示を表示可能である。

このような構成によれば、演出効果を高めることができる。